

どんどん必要になる 「グリーン調達」

《環境に配慮したモノづくり》

私たちは業種を問わず、自然環境の保護や持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められています。特に、気候変動への対応、資源の持続可能な管理、エネルギー消費の削減は、企業にとって重要な課題です。こうした課題に応える手段のひとつが「グリーン調達」です。

グリーン調達とは、製品やサービスの調達・製造過程で環境に配慮した選択を行う活動であり、メーカー、ベンダー、サプライヤーが連携し、サプライチェーン全体で責任を共有することが求められます。企業がこの取り組みを進めることで、環境保護への貢献だけでなく、持続可能な成長や競争力の強化にもつながります。さらに、環境配慮型製品は消費者からの支持を得やすく、企業イメージやブランド価値の向上にも寄与します。資源の効率的な利用やエネルギーコストの削減といった経済的メリットも見逃せません。

グリーン調達は国際機関でも推奨されており、グローバル市場で持続可能なビジネスモデルを構築するうえで欠かせない要素です。今後ますますその重要性は高まっていくでしょう。本セミナーでは、グリーン調達の必要性や考慮すべきポイントを導入として解説し、情報や規制の入手方法について、ワークショップ形式で実際に体験していただきます。皆さんの活動を開始、継続するための一助となれば幸いです。

受講するメリット

- ✓ 会社の継続に関する環境理解
- ✓ グリーン調達がおよぼす社内外への影響
- ✓ 情報整理の重要性
- ✓ 情報入手方法のポイント



講師

平池 学 (ひらいけ まなぶ) 講師

神上コーポレーション株式会社
技術顧問／構造アナリスト

- ・(株)テクノプロ テクノプロデザイン社 札幌サテライト代表技術者
- ・日本ピーマック(株) 技術部 主任
などを経て現職。

どんどん必要になる「グリーン調達」

1. グリーン調達の基本原則

- 1.1 グリーン調達とはなにをしめす？
- 1.2 グリーン調達が必要な理由（ワケ）
- 1.3 全世界での規制の種類と判断の仕方
- 1.4 グリーン調達は組織活動

2. 規制、体制、運用

- 2.1 ChemSHERPA成分表
～規制内容が一目でわかる～
- 2.2 SDS～日本国内の安全証明～
- 2.3 IMDS～世界で利用される材料データベース～
- 2.4 調査の仕方・考え方～OKなのかNGなのか～

3. 実際に進めてみよう

- 3.1 最初に流れを考える
～グリーン調達のフローを確定～
- 3.2 協力体制をつくる
～社内、社外のコミュニケーション～
- 3.3 求められている内容を把握
～どんな内容か、どんな資料か～

- 3.4 外部DBは注意が必要～IMDSなど社外データを扱う場合～
- 3.5 サプライチェーン
～ベンダーとしてメーカーとして“自分たちは何をすべきか”～
- 3.6 互いに行うこと～社員教育を繰り返す・法令遵守～
- 3.7 継続して行うためには
～エビデンスを残す「何が目的か」「何を必要か」～
- 3.8 ここまでの内容理解や状況アンケート（MicrosoftFoam）の実施とフィードバック

4. グリーン調達作業を体験しよう （ワークショップ形式）

- 4.1 化学物質の調査例（1）
～Excelを使用した整理と検索～
- 4.2 化学物質の調査例（2）
～kintone（独自）を利用したデータベース～
- 4.3 証明書の調べ方～SDS・公開されている情報～
- 4.4 規制対象物質の調べ方～SVHC・対象のリストを入手～

5. まとめ

セミナー概要

2026年 5月28日(木) 10:00～16:00

【Live配信】Zoomによるオンライン受講 【アーカイブ配信】2026/6/1～6/15

※LIVE配信をお申込みの方は、追加料金なしでアーカイブ配信の受講が可能です。

【定員】定員なし

【受講料】45,000円（税別）（税込：49,500円）※1名

※同一企業様から複数名同時にお申し込み頂くと、人数に応じて下記割引が適用されます。

【2名様⇒20%、3名様⇒30%、4名様⇒40%、5名様以上⇒50%の割引となります】

※開催日の1週間前を目安に、最少開催人数に達していない場合は開催中止とさせていただきます。

申込書

どんどん必要になる「グリーン調達」

以下の事項をご記入の上、日本アイアール・セミナー事務局宛にFAXまたはメールでお申込みください。
（※当社ホームページからのお申込みも可能です。）

会社名		部署名	
住所			
お名前		電話番号	
メールアドレス		受講形態	Live配信・アーカイブ配信

*受講形態はいずれかに○を付けてください。

日本アイアール セミナー事務局

FAX：03-6206-9993

MAIL：ir@nihon-ir.co.jp

(TEL：03-6206-4966)